

時代	年代	おもなできごと
平安	1086	白河上皇が(院政)を始める
	1167	(平清盛)が太政大臣となり、武士として初めて政権をにぎる。
鎌倉	1185	源義経が(土庫)浦の戦いで平氏をほろぼす。
	1192	(源頼朝)が武士の総大将として朝廷から征夷大將軍に任じられる
	1221	後鳥羽上皇が鎌倉幕府をたおそうとして、(承久の乱)をおこす。
	1232	執権の北条泰時が(御成敗式目)という法律を定める。
	1274	最初の元軍の襲来である(文永の役)がおこる。
	1281	二度目の元軍の襲来である(弘安の役)がおこる
	1297	生活が豊しくなった御家人を救うため、(徳政令)が公される。

### 院政と平治の政治

白河天皇は、天皇の位をしりぞいて(上皇)となったのちも政治を行い、この政治は(院政)とよばれた。

12世紀中ごろ、院政の実権をめぐる天皇家や藤原氏が争う(保元の乱)と、後白河上皇に仕える人々が争う(平治の乱)がおこった。これらに勝った平清盛は、武士で初めて政権を手に入れた。